

■ 特長

- ・超微粒子のナノエマルジョン採用により、従来型エマルジョンシーラーに比べ、あらゆる基材・旧塗膜への浸透性にすぐれています。
- ・乾燥した塗膜は自己架橋タイプのため、耐水性、付着性にすぐれています。
- ・カチオン系に樹脂により、基材と上塗り双方の付着性を助けます。
- ・水性のため、溶剤系シーラーではチヂミが発生しやすい旧塗膜の条件でも安心して使用できます。
- ・上塗りの吸い込みを抑え、仕上がり性を向上させます。
- ・1液型のため、作業性、取り扱いにすぐれます。

■ 被塗物素材

- ・コンクリート系屋根、屋根材（セメント瓦、スレート瓦）、住宅用化粧スレート（各種新屋根材）など
- ※陶器瓦、乾式コンクリート瓦（モニエル瓦、スカンジア瓦など）、アスファルトシングル材には使用できません。

■ 製品要綱

種類・色彩		透明		
主な用途		戸建住宅、集合住宅、商業施設、工場、倉庫などセメント系屋根面の新設および塗り替え用シーラーとして		
容量		15kg		
配合比		—		
標準塗付量(kg/㎡・回)		0.13~0.20		
標準塗布面積(㎡/15kg・回)		75~115		
希釈剤		水		
希釈割合 (重量%)	ハケ・ローラー	0 (通常不要)		
	エアレス	0 (通常不要)		
標準塗装回数		1		
可使時間		—		
指触乾燥時間		(10℃) 2時間	(23℃) 30分	(30℃) 20分
塗り重ね可能時間		(10℃) 4時間以上	(23℃) 2時間以上	(30℃) 1時間以上
光沢		—		
特化則該当物質		該当物質なし		
有機溶剤表示		—		
消防法による危険物区分		水性の非危険物		
材工価格 (2023年12月現在)		¥800.-/㎡ (当該製品のみ・300㎡以上)		

■ 使用上の注意事項

- ・塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- ・塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- ・塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- ・塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- ・絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- ・降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- ・新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- ・吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。
- ・シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- ・下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- ・新屋根材などで軽度の不陸がある場合は、下地調整材としてロック水性プロテクトルーフ サフを使用してください。
- ・素地が濡れている時は塗装を避け、乾いてから塗ってください。また直射日光などで極端に熱くなっている時は、少し冷やしてから塗装してください。
- ・カチオン系シーラーと上塗り塗料と混合するとゲル化して使用できなくなります。また塗装用具を共用することも避けてください。
- ・さげ缶などはプラスチック容器を使用してください。金属類は錆が発生するおそれがあります。
- ・ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- ・標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- ・取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。